

FIFA理事・田嶋氏 指導者はビジョンを

富山で講演会

国際サッカー連盟（FIFA

A）理事を務める田嶋幸三曰 本サッカー協会副会長の講演



ビジョンを持ち続けることの重要 性について話す田嶋氏—高志会館

会は4日、富山市千歳町の高志会館であり、指導者ら約150人が日本サッカーの在り方を考えた。

県サッカー協会が開催。田嶋氏は「サッカーを文化として地域に根付かせる必要がある」と指摘。「富山は日本一になった富山第一高校やJ3のカターレ富山があり、恵まれた環境だ」と述べた。

技術レベルの向上については、指導者養成、ユースチーム育成、代表チーム強化が欠かせないとし「指導者は50年

後、100年後を見据えたビジョンを持ち続けることが大切だ」と呼び掛けた。

田嶋氏と、スポーツ施設設計に詳しい田辺芳生プライム建築都市研究所（東京）代表、NPO法人富山スポーツコミユニケーションズの佐伯仁史理事長がパネルディスカッションした。富山市中心部にサッカー競技場を造る「まちなかスタジアム構想」について田嶋氏は「サポーターが見て楽しく、応援して楽しい場所であるべきだ」と述べた。